



TITLE:

研究会報告 『非平衡系の統計物理』 研究会(その2)

AUTHOR(S):

CITATION:

研究会報告 『非平衡系の統計物理』 研究会(その2). 物性研究 1992, 59(2): 154-155

ISSUE DATE:

1992-11-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/94988>

RIGHT:

研究会報告

『非平衡系の統計物理』研究会 (その2)

(1992年10月1日受理)

開催日時: 1992年7月14日(火)～7月16日(木)

開催場所: 筑波大学 大学会館 特別会議室

(プログラム)

7月14日(火)

森 肇 (九州共立大工)	統計力学とカオス
鈴木 増雄 (東大理)	対称性とコヒーレント近似
住 斉 (筑波大物質工)	溶媒の粘性に律速される非熱平衡化学反応のダイナミックスについて
青柳 睦 (化技研)	分子の高振動励起状態に関する理論計算 — 回転自由度の役割 —
松本 元 (電総研)	生体系の非平衡状態
都築 俊夫 (東北大理)	スピン・ボソン系の動的補償理論
富田博之・宮下精二 (京大教養)	スピン系準安定状態の緩和過程
一柳 正和 (長崎総合科大工)	不可逆過程の変分原理
金野 秀敏 (筑波大物質工)	散逸系のソリトンの統計力学的性質
江崎 ひろみ (東大工)	揺動媒質中の素励起の拡散
本池 巧 (湘北短大電子情報)	連続系における2 nd 分岐周期軌道と記号力学の関係

7月15日(水)

松下 貢 (中大理工)	バクテリア増殖によるパターン形成
斉藤 幸夫 (慶大理工)	結晶成長系の多様性
湯川 哲之 (KEK)	量子カオス
北原 和夫 (東工大理)	非平衡系の熱揺らぎ
滝本 淳一 (日産基礎研)	電気粘性流体の物理
番 雅司 (日立基礎研)	位相演算子とその応用 — 量子光学系におけるコヒーレンスと散逸 —

(以上は、前号(物性研究 59-1)に掲載)

内山 智香子(お茶の水大理)	ミクロなレーザー方程式の厳密解
香取眞理(中大理工)・今野紀雄(室蘭工大)	拡散を伴ったコンタクト・プロセスについて
佐野 伸行(NTT LSI研)	半導体デバイスにおける非平衡キャリア輸送
奥村剛・福田礼次郎(慶大理工)	体積が変化するときの非平衡熱力学
山中 由也(早大高等学院)	非平衡 Thermo Field Dynamics
宮崎 州正(東工大理)	速度勾配のある有限系における流速場の揺らぎ
下尾 由美(お茶の水大理)	零磁場共鳴法による緩和現象

7月16日(木)

蔵本 由紀(京大理)	発展方程式の縮約について
池田 勉(龍谷大理工)	反応拡散系のダイナミックス
福田 礼次郎(慶大理工)	場の理論による非平衡熱力学
有光 敏彦(筑波大物理)	量子系確率微分方程式の体系

研究会の主旨

わが国に於ける非平衡統計物理学(統計力学の基礎、数理生物、化学反応、レーザー、統計制御、カオス、フラクタル等の諸分野を包含する)は、長い研究の歴史とともに進展し、現在もなお高い研究レベルを有している。本研究会は従来、ともすれば個々独立に行われてきたこれら諸分野の研究を、長期的な視野に立って有機的に統合しつつ促進することを目的とし、本年(1992年)より発足する。

なお、本研究会は、「つくば科学万博記念財団」の補助を受けている。

(世話人: お茶の水大 柴田 文明)